

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院呼吸器内科・腫瘍内科で、  
抗癌剤による薬剤性肺障害に対して気管支鏡検査を受けたことのある患者さんへ

和歌山県立医科大学呼吸器内科・腫瘍内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

ICI 治療に伴う薬剤性肺障害に対する BAL の後方視的検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学呼吸器内科・腫瘍内科講座 講師 小澤 雄一

3. 研究の目的

免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) の有害事象として薬剤性肺障害が起こることがあります。肺障害の機序は不明であり、抗癌化学療法に伴う薬剤性肺障害を発症した患者様の気管支鏡検査結果 (気管支肺胞洗浄 (BAL) など) を解析することで、薬剤性肺障害の原因を検討し、今後の治療に役立てることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

抗癌化学療法中に薬剤性肺障害を発症された患者さんで、平成 28 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの期間中に、気管支鏡検査を受けた 18 歳以上の患者様

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢・性別・癌種・抗癌剤の種類・薬剤性肺障害の発症時期・癌及び肺障害の治療経過・気管支鏡検査結果・肺障害発症時の血液検査結果に関する情報です。

(3) 方法

当院呼吸器内科にて採取された気管支鏡検査の結果をもとに、様々な統計学的解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1 和歌山県立医科大学呼吸器内科・腫瘍内科講座 担当医師 古田 勝之  
TEL : 073-441-0619 FAX : 073-446-2877 E-mail : k-furuta@wakayama-med. ac. jp